

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第27報～

**NEW** 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成16年10月4日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Rhodomonas* sp.  
(ロードモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius  
(ノウプリウス)  
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。  
中央に円盤状の口を有する。

コメント

植物プランクトンは先週に引き続き少なかったが、種類数が2倍に増加した。アオコの原因となる、藍藻に属するアナベナやマイクロキスティスの種類も観察された。動物プランクトンやピコ植物プランクトンは、先週と同程度であった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	Nauplius	30

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉 質 虫 類	<i>Diffugia</i> sp.	30

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成16年10月4日

第27報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	10		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	6		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	40		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	1		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80		
(藍) 藍藻綱	17	10.1	51.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	50	29.8	14.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	1	0.6	13.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	59.5	20.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	168	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	2.30E+05
種類数	8		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	10月4日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	35,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 $\mu\text{m}$ (1 $\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。